

論壇

訪日外国人急増の要因

2012年には850万人ほどであった訪日外国人の数は、17年末には2800万人を超えたようだ。5年で3倍以上に増加したことになる。実際、観光地や空港に行くと、凄まじい数の外国人に遭遇することになる。

静かだった京都の裏通りでも外国人の集団が大挙して歩いている。静かだからこそ風情がある京都の裏通りだが、それを見ようと多くの人が来れば風情はどこかに行ってしまう。東京の銀座は中国人に占拠されたような感じさえするが、おかげでそこにあるデパー

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

トの売り上げの20%以上は外国人による買い物であるという。外国人がデパートの売り上げ増加に貢献している。

急速な観光客の増加に日本の方が対応できていない面もあり、色々なトラブルの話も聞く。ただ、訪日外国人の数が増えることは一般論としては悪いことではない。

アジアの人々 所得増大

日本の側でそれに対応する調整が必要なのだろう。日本はもう少しで外国人訪問者数が3千万人になりそうだが、フランスやスペインはその3倍近い外国人が来るという。

16年のデータであるが、外国人訪問者数のランキングで、日本は

まだ16位である。アジアで見ると、中国、タイ、マレーシア、香港などが、日本よりも上にある。こうした数字を見ると、日本への外国人訪問者数はまだ伸びてもおかしくない。

そもそも、なぜここに来て、外国人訪問者の数が急速に増えたのだろうか。いくつかの理由が考えら

れる。一つは、日本政府がビザの緩和などを進めて、観光客が日本に来やすくなったことがある。第二に円安が続いて、外国人の人にとって、日本の物価が安く感じることもある。ホテルや食事などが、円安で安く済むのだ。

商品輸出への影響重要

重要なことは、この現象は今後も続く可能性が高いということだ。ある研究によると、これから15年で、アジアの中間所得層以上の人の数はさらに15億人ほど増えると予測されている。日本の人口が1億2660万人ほどであると

いうこと、現在日本に来る外国人訪問者が2800万人であるという数字と比べると、この15億人というのは大変に大きな数字である。

もちろん、この中で日本に来る人の割合は小さなものだろう。それでもアジアの人たちの所得増大の影響は非常に大きいものだ。言うまでもなく、その需要の行き先は観光だけに限られるものではない。むしろ、消費拡大に伴う様々な商品の日本からの輸出への影響の方が重要かもしれない。

私たちに観光客の増加として見えて来る動きは、実は氷山の一角にしかならないのだ。その背後にはアジアの人の所得増加という大きな動きがあることを再確認する必要がある。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。